



SALZBURG
GLOBAL
SEMINAR



ザルツブルグ声明文

The Child in the City *Health, Parks and Play*

行動への呼びかけ

シドニーの約束 (The Promise of Sydney) では「自然は、人類の存在、文化的アイデンティティ、健康と繁栄を支える、生命、経済、そして希望が集まる究極の基盤」と定義し、気候変動への対応および人々の豊かな暮らしに欠かすことのできない要素として、都心の緑地を含め自然環境を保護、保全すべき資産と指定しています。

2009年に初めて都市部における人口が郊外を上回り、この先2050年には約3分の2の人口が都市部に住むと予測され、その数は20億を超えと言われています。

都市の価値が高騰すると同時に増えるのが、建設への投資です。残念ながら、自然環境の重要性と必要性に気づく人は少なく、自然が失われることで特に子どもたちの健康と環境が大きなりリスクにさらされる可能性が高くなります。

多くの都市は子どもに優しいものではなく、子どもの生活を優先した街づくりは行われていません。今後は、子どもの健康のみならず心身の発達や社会性を養う街づくり、生活の質の維持・向上を目指すことが急務であり、子どもたちの長寿と幸福には、安心して散策や自然体験できる「安全で健康な街に住む権利」が子どもたちに必要となります。

2017年に、「The Child in the City: Health, Parks and Play」をテーマに Parks for the Planet Forum 会議を開催しました。都市計画、児童発達、自然保護、環境政策、健康に関する52名の専門家が集まり、急速に進む都市化の中で、自然と健康が子どもたちに与える影響について検証し、対策について協議しました。

どこに住んでいようとも、すべての子どもたちは自然の恩恵を受けられるべきです。ザルツブルグ・グローバル・セミナーが主催した「Parks for the Planet Forum」会議の参加者と国際自然保護連合 (IUCN) は、「シドニーの約束 (The Promise of Sydney)」にならない、子どもたちの健康と成長に必要な自然環境と街づくりの取り組みについて議題を提起します。

世界中の人々は、子どもたちが健康に過ごせるように、自然と調和した住みやすい街をつくる責任を担っています。都市化が急速に進む中、未来を担う子どもたちに健全な環境を残すためには、まさに今、国境を越えて一丸となり行動を起こす必要があります。自然環境と街づくりを包括的に考慮した施策は、子供たちの健康、学習、発育における自然の役割を拡大し、生き生きとしたコミュニティの基盤を構築します。自然豊かな街での遊びは、子どもに社会性と街を愛する気持ちを養います。

全ての子どもたちが、自宅から徒歩10分以内に自然豊かな場所で安全かつ自由に遊ぶ権利を享受できるようにすることを私たちは指導者やステークホルダーに求めます。

この目標を達成するには、下記を理解した政策、投資、そしてアクションが必要となります：

- 都市は周囲の地形や保護地域に依存し、クリーンな空気、清潔な水、生物多様性などの住民にとって重要な生態系を提供する。
- 自然体験は、すべての年齢層で身体的、精神的健康と幸福感の向上に寄与する。
- 自然体験は、子供の短期および長期の認知的および肉体的発育を促進する。
- 自然体験は、自然への尊重や自然を大切にする姿勢を子どもたちに教える。
- 文化、人生、芸術を通して、自然と自分の人生を結び付けることが、アイデンティティ、街への誇り、家族やコミュニティの幸福、そして社会的結束力を高める。
- 健康でインクルーシブな街づくりにおいて、公園、遊び場、公共緑地は身近に自然を感じられる場としてだけでなく、都会と自然を結ぶ拠点として重要な役割を果たす。
- 自然を考慮した街づくりは、公衆衛生と教育に直接的な利益をもたらすだけでなく、生活環境の改善や気候・環境変動に対応する回復力を生み出す費用対効果の高い解決策となる。

提案については、裏面をご覧ください。



SALZBURG
GLOBAL
SEMINAR



Parks for the Planet Forumは、2015年にザルツブルグ・グローバル・セミナーと国際自然保護連合（IUCN）が共同に立ち上げた、社会変革に向けたリーダーシップを発揮し、具体的なアクションを行う協働プラットフォームです。活動の目的は、人類の健康と福祉、安全保障と繁栄の中心には自然があることを世界中の人々が認識することです。各地方および国際団体レベルで自然環境に関する先進的な施策を検証、策定する長期的なプログラムと組み合わせ、触媒型リーダーシップ、投資、イノベーションをテーマとした年1回の会議を開催しています。2015年11月に開催された第1回目の会議で可決された「Salzburg Challenge on Nature, Health and a New Urban Generation」が、2016年のIUCN世界自然保護会議で承認されました。

「ザルツブルグ声明文（Salzburg Statement on the Child in the City Health, Parks and Play）」の詳細は、以下をご覧ください：

www.salzburgglobal.org/go/574

ザルツブルグ・グローバル・セミナーは、1947年に設立された独立した非営利団体で、多岐にわたるグローバルな課題について、現在と未来のリーダーが議論、対策を講じられる場を提供することを目的としています。：

www.SalzburgGlobal.org

IUCN（国際自然保護連合）は、1948年に設立された国際的な自然保護団体で、危機に瀕している環境や開発問題を解決する実用的なソリューションを発見することを支援することを目的としています。：www.iucn.org

本ステートメントで述べられている内容は、参加者の総意より抜粋していますが、出身国や所属団体の意見を代表するものではありません。

*子どもの権利と持続可能な開発目標に関する国際連合条約に基づく。

子どもたちのために街を変える8つのアクション：

1. 年齢、家庭環境、収入、能力などの違いに関わらず、すべての子どもたちが、平等に自然の中で定期的に遊べ、健康的かつ幸せな気持ちを感じられる環境を提供できるようにする。
2. 学校、自宅の庭、公園、遊び場、街中などの子供が使用する日常の場所に自然を埋め込んで自然な屋外教室にする。
3. レクリエーション・教育・発想・健康を養う場として、子どもたちと一緒に自然豊かな街の計画から設計まで行うことにより、地域社会、学校、公園に対する愛着と誇りを与える。
4. 子どもたちに自然に対する好奇心、疑問、配慮を芽生えさせる。（例：校庭の緑化や自治体の庭園の手入れに参加させる）
5. 自然に溢れた都市景観を失わず、あらゆる世代の人たちが平等に緑地へ足を運べるよう交通網を整備する。
6. 人間だけでなく動植物が安全に街中や近隣へ移動できるように通路をつくり、街と周辺の生態系を繋ぐ。
7. 都心の保護地域など自然と触れ合える場を増やし、街をより広い自然保護地区と繋げていく。
8. セクターや階層を超えた協業を通して、健康を重視したインクルーシブな街の文化を築く。